

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2012年4月～2013年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていた
だきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 愛知県安城市立里町小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒446-0001

愛知県安城市里町足取1番地5

E-mail : satomachi@anjo.ed.jp

Website : <http://www.anjo.ed.jp/~satomachi/>

児童生徒数：男子 341名 女子 315名 合計 656名
児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか (福祉教育)

4. 活動概要

1年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

◎総合的な学習の時間、生活科の学習で体験的な活動を重視して授業展開をし、自ら気づき、課題を作り、追究して、その結果を地域に発信する力を育てていこうとした。まとめの発表の場として、里小まつりがある。里小まつりでは各学級、発表コーナーを複数作り、表にまとめた内容を発表したり、クイズを出したり、劇にしたりと工夫している。

各学年、テーマに沿って以下のような活動をした。

◎6年生：「生きる一宇宙船地球号の一員として」

青年海外協力隊の方の講話を聞いた。自分とは違う暮らしをしていることに気づいた子どもたちは関心をもった国について調べ、自分たちにできることを考えた。里小まつりではフェアトレードの紹介をしたり、ガーナのバケツ運び体験コーナーを設けたりして学習してきたことを発表した。その後1週間、児童会で行ったユニセフ募金にもより協力できるよう、各学級をまわり呼びかけをした。

◎5年生：「米から考える私たちの食生活」

身近に食べているお米に関心をもった後、田植えをした。その後、米について、栄養、安全、食料自給率などの観点から課題を見つけて、調べていった。10月には稲刈りをした。米作りの苦労を体験した子どもたちは、里小まつりではお米をもっと食べてもらおうと、食料自給率の現状を紹介し、豊かに見える食生活の問題点を発表した。

◎4年生：「環境戦隊里レンジャー」

社会科の学習と関連させ、ごみの実情を学習した。そこから、子どもたちは環境問題に関心をもった。1学期に猿渡川の水質検査、夏休みから2学期にかけて、グリーンカーテンの観察をした。その結果から、自分たちでできることを調べたり、考えたりした。里小まつりでは、学級ごとに、環境問題、川を守る方法、リサイクル、ごみの分別などについて発表した。

◎3年生：「里町大好き ～やさしい町にしよう～」

1学期に社会科と総合的な学習の時間を関連づけ、学区にある不乗森神社、西方寺などを訪ね、地域の良さを学んだ。町のことを知った上で、2学期には福祉教室で、点字・手話・ガイドヘルプ・高齢者のたいへんさを学んだ。自分たちの住む里町を人にやさしい町にするため、福祉のことを知らせるとよいと考え、里小まつりで点字や手話などを紹介した。

◎2年生：「町探検」

通学路コース別に学区を見学した。見学の中で気づいたことを発表し合い、関心をもった建物やお店をしぼった。子どもたちは興味をもった場所に班別に見学に行き、インタビューした。見学したことをまとめるとともに、お礼の手

